

会 議 録

会 議 名	第 2 4 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 6 回		
事 務 局	小金井市公民館 緑分館		
開 催 日 時	平成 2 9 年 1 月 1 0 日 (火) 午前 1 0 時～ 1 2 時		
開 催 場 所	小金井市公民館 緑分館 集会室		
出 席 委 員	大島委員、大野委員、島田委員、杉井委員、横須賀委員		
欠 席 委 員	山本委員		
事 務 局 員	大野主査、渡辺主事、山本(非常勤)		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 高齢者学級「みどり・朴の樹学級」について (2) 陶芸入門教室について (3) 成人学校「岐路に立つ日本と世界の経済」について (4) 成人学校「没後 2 5 0 年 代官 川崎平右衛門とその仕事」について (5) 国際交流イベント「フィンランドを知る」について (6) 音楽鑑賞のつどいについて (7) 夢農園 1 月以降のスケジュールについて (8) 公民館緑分館宿泊利用者説明会について (9) 第 5 3 回東京都公民館研究大会について <p>2 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成 2 9 年度緑センターまつりについて (2) 平成 2 9 年度夢農園（野菜作りコース）の見直しについて <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 三者合同研修会について (2) 平成 2 9 年度事業について 		

1 報告事項

(1) 高齢者学級「みどり・朴の樹学級」について

山本非常勤：12月14日の閉級式を持ちまして、28年度の高齢者学級の全日程を終了いたしました。担当してくださった大島委員、杉井委員、横須賀委員、ありがとうございました。参加者のアンケートを読みますと、概ね好評だったようで、ほっとしております。28年度の高齢者学級が終了したばかりですが、29年度の計画を始めなければいけません。以前は準備会を行っていましたが、参加人数が1、2名と少なかったため、最近では行っておりません。高齢者学級の最後の回に、今後どんな講座を聞きたいか、野外研修でどこへ行きたいかなどのアンケートをとり、それをもとに企画実行委員会で講座案について話し合います。高齢者学級は、回数も多いですし、バラエティに富んだ講座内容でなければならないところが苦心します。企画実行委員のみなさまにもご提案をいただければ有り難いので、どうぞよろしく願いいたします。

杉井：前任の企画実行委員からはどんな案が出ましたか？

山本非常勤：水彩画の講座についてや野外研修の行き先について等のご提案をいただきました。水彩画の講座の提案をしてくださった委員さんは、ご自身でも水彩画を習われているので、講師も紹介してくださいました。

杉井：その方は、提案はしたけれども任期満了になり、講座の実施を見届けることはできなかったのでしょうか。

山本非常勤：講座の当日に来てくださって、講師のアシスタントとしてお手伝いをしてくださいました。

横須賀：野外研修についてですが、バスを使用できるのは一回ですか。

山本非常勤：今年度は一回でしたが、来年度は社会福祉協議会のみどり号に加えて、市のマイクロバスも使用する予定です

大野：今年度は皆勤賞の人数も多かったことからわかるように、講座の内容はよかったと思います。

横須賀：講座の内容がバラエティーに富んでいて、バランスもよかったと思うので、来年度も同じようなバランスで企画すれば、参加者は喜ばれると思います。

大野分館長：以前、事業のまとめという冊子を配布いたしましたので、その中に、他館の高齢者学級の内容についても記載されていますので、それを参考になさって講座のご提案をいただければと思います。

(2) 陶芸入門教室について

渡辺：9月29日から12月22日まで、全13回にわたって陶芸入門教室を実施いたしました。当初16名の申込みがあったのですが、途中、1名退会されたので、15名での実施となりました。受講された方々は、初めての陶芸体験で自分の作品が作れたことに満足されていて、大変好評でした。受講生のうち4名の方が、緑センターで活動している陶芸サークルに入会を希望されました。昨年度に比べて、サークルの入会希望者が減ったので、その事について講師と話し合いました。講師からは、陶芸入門講座の募集記事を市報に掲載する際に、講座受講後はサークルに入会できる旨を記してはどうかというご意見をいただきました。来年度はこの点についても考慮したいと考えております。ご協力いただきました大島委員、島田委員、杉井委員、横須賀委員、ありがとうございました。

横須賀：来年も同じ講師の方にお問い合わせするのですか。

渡辺：はい、その予定です。

(3) 成人学校「岐路に立つ日本と世界の経済」について

島田：先日、大野分館長と一緒に講師と講座の打合せをしてまいりました。経済の話は難しく、ある程度の知識がなければ理解できないのではないかということで、どれくらいのレベルのお話をしていたかについて話し合いました。

杉井委員：今日までに何名くらいの申込みがありましたか。

大野分館長：72名の申込みがありまして、受付は締め切りました。

杉井委員：申込者の年齢層はどうなっていますか。そして、やはり、男性が多いですか。

大野分館長：はい、男性が多いです。年齢層は、50歳未満の方の申込みはなく、70歳代の方が一番多いです。

島田：若い人たちはこの様な講座には関心がないようですね。

大野分館長：若い人たちにも来ていただきたくて、講座を日曜日に実施することにしたのですが、残念です。

島田：大島委員にチラシを作っていただいて、広報掲示板にも掲示いたしました。若い人たちは見ないみたいですね。

横須賀委員：自分たちが現役の頃のことを考えてみると、掲示板も市報も見なかったような気がします。

大野分館長：当日は島田委員に司会をお願いしますので、受付等の準備は、参加される他の委員さんたちでやっていただきますようお願いいたします。

(4) 成人学校「没後250年 代官 川崎平右衛門とその仕事」

大野分館長：こちらの講座は、1月15日号の市報に募集記事が掲載さ

れ、1月16日より申込み受付を開始いたします。チラシの川崎平右衛門の肖像画の部分が空欄になっていますが、これは、まだ肖像画の掲載許可が下りてないからです。肖像画は川崎平右衛門の子孫の方が所有されていますが、肖像画のレプリカは府中郷土の森博物館が所有してございまして、丁度、本日、使用許可が下りたと連絡が来ました。

大野：緑分館は、平右衛門橋にも近いですし、平右衛門の実績が残っている場所でもありますので、是非、沢山の人に受講していただきたいと思っております。

大野分館長：当日の司会は大野さんをお願いできますか。

大野：はい。

(5) 国際交流イベント「フィンランド」を知るについて

渡辺：1月4日から申込み受付を開始いたしまして、定員36名のところ34名の申込みがありました。この講座は、講師と参加者、あるいは参加者同士の交流も目的としておりますので、4回の講座全回に参加できる方を対象としております。ですから、受付の際にその旨を確認して、参加出来ない方は、申し訳ないのですが、お断りしております。1月21日の初回は、公民館研究大会と重なっておりますが、担当の大島委員、杉井委員、島田委員は講座のお手伝いをお願いいたします。

大島：申し訳ないのですが、その日は、どうしても外せない用事があって、お手伝いできません。

(6) 音楽鑑賞のつどいについて

山本非常勤：前回の会議の際、講師の方と打合せをして、大まかな講座の内容が決まったことをご報告しました。講座の内容は、モーツァルトのオペラの世界についてですが、講座のなかで講師の方が実際に歌ってくださいます。その時の重唱のパートナーが決まったと講師の方からご連絡がありました。

横須賀：日にちはいつですか。

山本非常勤：3月11日の土曜日、午後1時からです。

大野分館長：この講座は、企画実行委員のみなさん全員がご担当ですので、よろしく願いいたします。

(7) 夢農園1月以降のスケジュールについて

大野分館長：今年度の夢農園も残り3ヶ月となりました。1月以降の通常の作業以外の日程を確認しておきます。1月12日は灰作りを行います、担当の杉井委員のご都合はいかがでしょうか。

杉井：参加できます。

大野分館長：2月2日の研修会はいかがのでしょうか。

杉井：その日は都合が悪く参加できません。
大野分館長：3月23日の閉校式はいかがでしょう。
杉井：参加できます。
大野分館長：よろしく願いいたします。

(8) 公民館緑分館宿泊利用者説明会

大野分館長：12月15日に当館にて緑分館の宿泊時の布団使用料の実費徴収についての説明会が開催されました。昨年と今年に宿泊実績のあった団体には説明会の開催案内を郵送したのですが、出席者は3名でした。色々のご意見、ご質問は受けておりますが、出席された方からは、布団使用料の実費負担については反対のご意見は出ませんでした。

(9) 第53回東京都公民館研究大会について

大野分館長：1月21日に福生市において第53回東京都公民館研究大会が開催されます。出席予定の企画実行委員さんは、大野委員、山本委員、横須賀委員、職員は、私と山本です。午前10時から福生市民会館、公民館にて開催されます。よろしく願いいたします。

2 協議事項

(1) 平成29年度緑センターまつりについて

大野分館長：平成29年度の緑センターまつりは、6月2日、3日、4日の3日にわたって開催予定です。センターまつりでは、毎年、特別イベントを実施しております。特別イベントというのは、センターまつりにより多くの人に来ていただくためのものです。昨年は、パーカッションとギターのデュオに出演していただきました。

山本非常勤：昨年は、特別イベントの日の朝から大雨が降ったので、参加者がとても少なくて残念でした。

大野分館長：特別イベントの出演者についてご提案いただければ有り難いです。

大島：落語はいかがですか。

大野分館長：落語は以前、緑分館でもやったことがあります。

横須賀委員：やはり、おまつりですから音楽のような音が出るものがないのではないのでしょうか。

大島：小金井交響楽団に弦楽四重奏をやってもらうのはいかがでしょう。小金井交響楽団に知り合いがいるので、出演してくれるかはわかりませんが、声をかけてみるのもいいです。

横須賀委員：農工大の落語研究会にお願いすると数名で来ていただける

のでバラティに富んでいていいと思います。

大野分館長：色々ご意見、ご提案があると思いますので、次回の会議の際にお聞かせいただければと思います。

(2) 平成29年度夢農園（野菜作りコース）の見直しについて

大野分館長：例年定員を35名で募集していましたが、今年度は応募者が31名で、3名退会されましたので、28名が受講されています。ただ、35名の定員で農作業の計画がされていますので、一人にかかる負担が重くなっているのが現状です。そこで、来年度の受講生を募集するにあたって講座の内容を見直したいと思っています。見直しの内容といたしましては、定員を35名から30名に減らす、それに応じた農作業の見直し、講座の開始時間を30分遅らせるなどです。この見直し案を夢農園の運営委員会に提案いたしまして、了承いただければ、来年度はそのように実施していきたいと思っています。

3 その他

(1) 三者合同研修会について

大野分館長：2月7日、午後2時より貫井南分館にて三者合同研修会が開催されますので、是非、みなさんご参加ください。

(2) 平成29年度事業について

大野分館長：29年度の事業についてですが、来年度も同じ枠組みでやっていきたいと思っています。通年で実施している共働夢農園、生活日本語教室、例年実施している陶芸入門教室、高齢者学級、ハーブ教室などは内容が決まっていますが、成人学校、国際交流イベントなどは、内容が未定ですので、こういう講座をやってみたいなどのご提案があればよろしくお願ひいたします。

島田：講座を企画する場合、講師の選定などどれくらい前から準備をすればいいのでしょうか。

大野分館長：講座を実施するにあたって、会場となる部屋の予約をしなければいけないので、3ヶ月前、厳密に言うと3ヶ月前の19日までに日程を決めなければいけません。日程については講師の都合もあるでしょうから、講師の選定は早ければ早いほどいいと思います。

次回 平成29年2月7日（火）午前10時から

公民館緑分館 学習室

司会：山本委員

以上

